

平成 30 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会会議録

○日 時 平成 30 年 8 月 3 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 10 分

○場 所 三浦市役所第 2 分館 第 1 会合室

○次 第

- 1 開 会
- 2 署名委員の指名
下 里 矩 生 委員、 廣 瀬 牧 実 委員
- 3 審議事項
(1)議案第 20 号 要望書の取扱いについて
(1)議案第 21 号 平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択について
- 4 閉 会

○出席委員（4名）

教 育 長	三 壁 伸 雄
教育長職務代理	下 里 矩 生
委 員	玉 井 恵 理
委 員	廣 瀬 牧 実

○欠席委員（1名）

委 員	松 尾 恒 廣
-----	---------

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	君 島 篤	教 育 総 務 課 長	増 井 直 樹
学 校 教 育 課 長	八 卷 貞 司	学 校 教 育 課 指 導 主 事	高 梨 真 一
学 校 教 育 課 指 導 主 事	小 松 亮	学 校 教 育 課 指 導 主 事	増 田 格 人
学 校 給 食 課 長	松 下 彰 夫	文 化 ス ポ ー ツ 課 長	塚 本 孝 治
南 下 浦 市 民 セ ン タ ー 館 長	松 井 住 人	初 声 市 民 セ ン タ ー 館 長	見 上 正 行

○事務局出席者

教育総務課教育総務グループリーダー	長 島 正 紀
-------------------	---------

○傍 聴（19名）

○三壁教育長 ただいまより平成 30 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会を開会いたします。
本日、松尾委員が欠席と連絡を受けております。
本日の臨時会の会議録署名委員に下里職務代理と廣瀬委員を指名いたします。
よろしくお願ひいたします。

○三壁教育長 それでは、次第 3 「審議事項」に入ります。
議案第 20 号「要望書の取扱いについて」を議題といたします。
事務局より説明をお願いします。

○八巻学校教育課長 議案第 20 号「要望書の取扱いについて」、ご説明いたします。
議案・資料 1 ページ、資料 1 及び別紙要望書をご覧ください。
教科書採択に関わる要望書を 1 件いただいておりますので、件名、陳情者、概要についてご説明します。
件名は「道徳教科書の採択に関する要望書」でございます。
陳情者は「教科書採択の民主化を求める神奈川の会」でございます。
概要は「教科書採択の公平・公正を侵す宣伝活動や、首長との不明朗な関わりが疑われる発行会社の教科書（日本教科書）は、採択から除外してください。」という内容です。
説明は以上です。よろしくご審議のほどお願ひいたします。

○三壁教育長 説明は終わりました。

この要望書の取扱いですが、平成 30 年 3 月 29 日に開催した平成 30 年第 3 回定例会において、「平成 30 年度三浦市立小・中学校使用教科用図書採択方針」を定めています。その中の、1、教科用図書採択に当たっての留意事項について、（1）採択は、静謐（せいひつ）な環境において採択権者が自らの責任と権限において、適正かつ公正に行う。と決めました。このことと、今回の要望書等の内容は、相容れないことですので、採択も不採択も行わないこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

ご異議ないようですので、(1)議案第 20 号 「要望書の取扱いについて」は、そのような扱いとします。

○三壁教育長 続きまして、議案第 21 号 平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択について議題といたします。
それでは、事務局より説明をお願いします。

○八巻学校教育課長 議案資料 2 ページ、資料 2 をご覧ください。
議案第 21 号 平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択についてご説明します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 21 条第 6 号及び義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 13 条の規定に基づき、平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）について採択するものでございます。

本件に関しましては、平成 30 年第 3 回定例教育委員会におきまして、決定いたしました「平成 30 年度三浦市立小・中学校教科用図書採択方針」に則り、調査検討を依頼した三浦市教科用図書採択検討委員会の協議内容等の説明と報告をさせていただきます。

まず、三浦市教科用図書採択検討委員会につきましてです。検討委員会においては調査員、学校研究会が作成した資料、また併せて教科用図書展示会において、保護者、市民からの声を資料としてご協議いただきました。

三浦市教科用図書採択検討委員会におきましては、調査員、また教育研究所の資料を踏まえ、三浦市の生徒の状況、実態等を考慮してご審議をいただき、三浦市の生徒にとってより優れているもの、適したものであるということで、ご審議いただいたものをこれからご報告しますが、平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）の採択については、教育委員の皆様方にご審議をいただき、生徒にとって最もふさわしいものを選定いただくようお願いします。

なお、この報告につきましてはここで行っていただきます採択に関し、縛りをかけるものではありませんので、併せて申し添えをさせていただきますと思います。

説明は以上です。

○三壁教育長 ご質問等がありましたらお願いいたします。

○三壁教育長 特に無いようですので、採択の進め方としては、検討委員会から出された「平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）検討協議結果」に記載されている内容について、事務局より説明を受け、委員の皆さんに、検討委員会から出された報告書の内容や教科書をご覧になっての感想などのご意見をいただきながら、最終的に採択候補 1 社を選んでいくこととしたいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。

ご異議ないようですので、これから採択をしていただきます。

○三壁教育長 それでは、引き続き事務局から説明をお願いします。

○八巻学校教育課長 まず初めに、採択検討委員会の場において調査員より報告された各出版社の特徴を報告いたします。

まず、東京書籍ですが、判型はA B判、1 冊。特徴といたしまして、巻頭に「話し合いの手引き」を配置し、各教材の「考えてみよう」の発問による話し合い活動や、「アクション」で場面演技や体験的学習を促している。「いじめ」について、3つの教材からなるユニットで構成され、一つのテーマについて、様々な角度から考えられるよう工夫されている。提示の仕方によって、モラルジレンマを引き起こしやすい。等が挙げられました。

次に、学校図書についてです。判型はA B判、1冊。特徴といたしまして、多面的・多角的に考える工夫として、現代的な課題を日常と絡めながら直接的・間接的に考える教材を配置し、意見交換する発問が用意されている。冒頭に「学級づくり」を置き、互いに悩みを共有することで友人関係づくりをサポートしている。等が挙げられました。

続きまして、教育出版についてです。判型はB 5判、1冊。特徴といたしまして、「やってみよう」という活動のページを設け、実際に場面を演じたり、練習することによって、学びを深められるようになっている。学習内容を焦点化するために、短めの教材、見てわかる教材を取り入れている。答えが一つではない課題や解決困難な課題に向き合う教材によって、「多面的・多角的に考える」ように工夫されている。等が挙げられました。

次に、光村図書出版についてです。判型はB 5判、1冊。特徴といたしまして、巻頭に「対話で広がる道徳の時間」を設定し、各教材の「学びのテーマ」で考えるテーマを簡潔に提示することで、考え、議論する道徳を具体的に示している。現代的課題で現在活躍する人物を扱い、「見方を変えて」では、視点や立場を変えた問いを提示し、「多面的・多角的に考える」工夫がなされている。等が挙げられました。

次に、日本文教出版についてです。判型はB 5判、分冊あり。特徴といたしまして、直接的または間接的に「いじめ」を扱った教材を多く取り上げ、体系的に考えられるようになっている。中学生が陥りやすい人間関係のジレンマを題材に、自他を尊重しながら思いを伝える方法などについて、繰り返し、段階的に考える内容になっている。別冊の「道徳ノート」には様々な角度から問題を見つめ、前向きに生かすための発問がされている。等が挙げられました。

次に、学研教育みらいについてです。判型はA 4判、1冊。特徴といたしまして、「いじめ」について重点的に扱い、アンガーマネジメントなどの具体的な感情コントロールの方法が示されている。中学生が日常で直面し得る場面を想定し、自分ならどう行動するのかを考えさせる教材が多く扱われている。「ふかめよう」「クローズアップ」「クローズアッププラス」の三つの特設コーナーを設け、生徒の多様な考え方や感じ方を引き出すよう工夫された発問例が設けられている。等が挙げられました。

次に、廣済堂あかつきについてです。判型はA B判、分冊あり。特徴といたしまして、巻頭に設けられた「自分を見つめよう/考えよう/のぼそう一道徳の時間」では、考えが深められる学習の流れが示されるとともに、章末には「ともに考え、話し合う」コーナーを設けている。別冊「道徳ノート」を用いて自分の考えを書くことで、自己を見つめ考えを深めたり、他者との意見交換ができるように工夫されている。等が挙げられました。

最後に日本教科書についてです。判型はB 5判、1冊。特徴といたしまして、多方面にわたる先人や著名人の体験や夢から学ぶ教材が多く採用されている。巻頭には「多様な考えを知るため」が掲載され、議論につながるような具体例が示されている。また、生徒が考えるしくみや視点を提示し、生徒の思考を揺さぶる問いが用意されている。等が挙げられました。

以上の報告を受け、教科用図書採択検討委員会にて比較検討した結果、8社のうち、より適した三浦市の中学校で使用する教科用図書（道徳）として、「東京書籍」「光村図書」「日本文教出版」の3社が優先順位をつけずに同列の候補として報告されました。

議案資料3ページ「平成31年度使用中学校教科用図書（道徳）検討協議結果」をご覧ください。

検討の経過とともに、理由についてご説明させていただきます。

検討の視点として、主に次の3点をポイントに比較検討いたしました。

1点目、教育研究会の調査結果より、現場の先生方の声、現場の教職員が授業をしやすいかどうか。

2点目、学校現場の実態に沿った教材配列で、且つ教師が実情に合わせてアレンジすることができるか。

3点目、三浦の子どもにとって扱いやすく、思考や議論を深められる内容になっているか。

それでは、3社の教科用図書を候補とした特に優れているとした理由について、ご説明申し上げます。

1つ目の候補「東京書籍」とした理由としましては、教育研究会の調査結果の項目の中で、1「学習指導要領の教科の目標を踏まえているか。」及び15「道徳的な課題を生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」につながる内容構成になっているか。」のポイントが高く、且つ全体としてのポイントも高い。

学校行事の時期を考慮した配列が工夫されており、道徳での学びが日常生活につながるよう配慮されている。また、実情に合わせて配列を替えることも可能である。

巻末に心情円やホワイトボードが付属しており、振り返りや班活動に取り組みやすいように工夫されている。

以上の理由が挙げられておりました。

二つ目の候補「光村図書」とした特に優れているとした理由としましては、教育研究会の調査結果の項目の中で、1「学習指導要領の教科の目標を踏まえているか。」及び8「生徒の理解や習熟の程度に応じた、発展的な学習の取扱いは適切であるか。」のポイントが高く、且つ全体としてのポイントも高い。

学校生活の実態や生徒の成長を考慮した教材の配列になっている。また、状況に合わせて配列を組み替えやすい。

小学校道徳とのつながりを持ちやすく、継続した学習や連続性のある指導をしやすい。が挙げられておりました。

三つ目の候補「日本文教出版」とした特に優れているとした理由としましては、教育研究会の調査結果の項目の中で、9「内容は全体として系統的、発展的に構成されているか。」及び18「生徒の実態から見て適切であるか。」のポイントが高く、且つ全体としてのポイントも高い。

学校生活の流れを意識した教材の配列になっている。また、実情に合わせて配列を組み替えることもできる。

別冊の道徳ノートで、様々な角度から問題を見つめ、学んだことを前向きに生かす発問の工夫がされている。

以上の理由が挙げられておりました。

説明は以上でございます。

○三壁教育長 説明は終わりました。検討委員会では、三つの候補が報告されていますが、これより、この三つの候補について検討するという形ですすめてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、早速ですがご意見等がありましたらお願いします。

○**下里職務代理** 子どもにとって扱いやすい内容ということで検討したとあるが、とても大切な視点の一つだと思います。一つの教材が長すぎたり、難しすぎたりすると、文章の理解だけにとどまり、道徳の授業というより国語の授業のようになってしまうと思われるが、文章の量や内容については、どのように検討されたか教えてください。

○**八巻学校教育課長** 子どもにとって扱いやすい内容ということで検討委員会で出された意見といたしましては、東京書籍の場合は巻末にある心情円やホワイトボードは、考えを整理したり、コミュニケーションを深めるのに適しているのではないかと。という意見がでました。

光村図書は、他の2社に比べると分量はやや多い傾向にあるものの、国語の教科書が光村図書なので、子どもにとって入りやすい印象がある。また、小学校の道徳教科書が光村なので、学習に継続性を持たせやすいのではないかと。という意見が出ました。

日本文教出版の別冊資料は、自分の考えを深めたり、話し合いにつながる内容で、シンプルなのでアレンジもしやすいのではないかと。という意見が出ました。

東京書籍、日本文教出版は、実際の人物を取り上げるなど、資料に工夫が見られ、全体的に扱いやすい。

また、大きさや重さなどで考えた場合、A4版はやや大きくて扱いづらい印象がある。B5版はコンパクトで扱いやすい。等の意見が出されました。

○**廣瀬委員** 検討の視点のポイントとして三浦の子どもという視点から考えると、三浦市には三浦市教育大綱が掲げられていますが、今三浦市が推進している海洋教育に関連付けることができる教材は、各社どの程度取扱っているのか、もし分かれば教えてください。

○**小松指導主事** 海に関連する教材の数といたしましては、東京書籍が5題材、光村図書が3題材、日本文教出版が5題材でございます。

○**玉井委員** 現代的な課題である「いじめ」や「情報モラル」について、各社の扱いはどのようになっていますか。

○**八巻学校教育課長** 「いじめ」や「情報モラル」については、どの出版社も、現代的な課題として重点を置いて扱っている。という意見でした。その中で、題材や配列に工夫が見られたものとしては、東京書籍では、いじめの問題を3つの教材の組み合わせで「いじめ問題対応ユニット」として扱い、命についても自分、それから他人の命、存在の大切さを多面的・多角的に捉えられるように工夫されていた。という意見でした。

光村図書では、教材の配列を学校生活に合わせて4つのシーズンに分け、その中で「いじめ」が起りやすい時期に教材として扱えるようになっている。「学びのテーマ」やコラムなどで

自分の考えを深め、話し合いにつなげるような構成になっている。という意見が出ております。

日本文教出版では、全学年を通して「いじめ」を扱った教材を多く取り上げ、ユニット形成して体系的に考えられるようになっている。また、コラムでいじめを視覚的に捉えたりアンガーマネジメントのスキルを学んだりできるようになっている。という意見です。

「情報モラル」については、どの出版社も学年で2～3つ程度の教材を扱っていて、SNSのトラブルなどをイラストや漫画でわかりやすく捉えられるようになっています。

○下里職務代理 「考え議論する道徳」が掲げられているが、そのとき一番大事になると思われることは、掲載されている読み物資料がそれにふさわしいものかということになると思います。子どもたちが考える教材としてみた時に、単純には結論が導き出せない、そして自分の中に葛藤が生まれる、そんな教材がいいのではないかと考えているわけですが、そのような視点で考えた時、提示の仕方でモラルジレンマを起しやすいうという東京書籍は、深まりのある思考や議論につながると思います。

○三壁教育長 その他にいかがですか。

○玉井委員 子どもにとって、扱いやすいということと、「いじめ」などの現代的な課題について思考や議論を深めやすいという視点に立ちますと、東京書籍の「いじめ問題対応ユニット」はいじめに重点を置いて扱っていると思います。また、日本文教出版では、いじめに関する題材数が多いことやアンガーマネジメントのスキルを学ぶという部分で、やや優れているのではないかと思います。

○廣瀬委員 先ほどの教育研究会の調査報告書では、いずれの出版社も、評価の観点について高ポイントを獲得しているものがありました。「光村図書」は「生徒に理解や習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか」という点、「東京書籍」は生徒が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳、議論する道徳」という点、「日本文教出版」は、「内容が系統的、発展的に構成されている」ことについて高評価をえており、それぞれの良さや特長が現れていると思います。

○三壁教育長 これまで、ご質問、ご意見いただきました。
これからまとめに入っていきたいと思いますのでご意見をお願いします。

○玉井委員 やはり、子どもにとって使いやすい教科書という視点で各社を比較しましたときに、子どもが関心を寄せ、自らすすんで関心を持つ、そのような教科書がよいのではないかと思います。そう考えた時、東京書籍の巻末にある心情円やホワイトボードは、なにか付録的な面白みがあり、子どもが道徳の学習に興味を持って、思考し話し合う雰囲気が生まれるのではないかと思います。

○廣瀬委員 先ほども意見が出ていたと思いますが、三浦の海洋教育に関していえば、「東京書籍」と「日本文教出版」は、その取扱いの数が多いと説明していただきました。保護者、地

域の声にもあるように海が身近な三浦の子どもたちにとって郷土の良さについて感じてもらう教材にもなりますので、この2社が三浦としての特色を生かした教育に合致するのではないかと私は思いました。

○下里職務代理 冒頭でもお話し申し上げましたが、道德の教科書に求められているのは「考え・議論する道德」というところです。そのような視点に立った時、教育研究会の調査結果では、3社とも全体的な評価が高いものの「東京書籍」は、「課題を自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道德」「議論する道德」につながる内容構成での評価が高い。また、課題に対して自分の考えに葛藤が生まれ、話し合いを通して他者の考えに触れ、よりよい解決方法を見つけ出すような理想的な学習の流れを考えていくと「東京書籍」がいいのではないかと思います。

○三壁教育長 いま、お一人ずつご意見をいただきましたが他にご意見はありませんか？

○玉井委員 「考える道德、議論する道德」として考えたとき、読み書きの分量も大切な要素ではないかと思います。あまり分量が多すぎると、文章理解や記述に時間がかかってしまい、じっくり考える時間が確保されにくくなると思います。その点では光村図書の題材は、やや分量が多い、そのような傾向があります。また、日本文教出版は、別冊ノートが付いていますが、書く分量が多く、これも50分という授業時間を考えたとき、取り扱いが難しいのではないかと思います。そのように考えますと、バランス的な意味から考えて、私は東京書籍がよいのではないかと思います。

○廣瀬委員 いま、玉井委員から読み書きの分量のお話がありましたけれど、教科書や別冊ノートの記述する欄が設けられていますが、記述欄が決まったパターンですと、生徒にとっては書きやすいということや先生が指導しやすいという面もあると思いますが、目新しさや新鮮さがなくなってしまうと思います。道德という教科は考えさせたい内容に応じて自由な記述が必要になってくると思いますので、そのような観点から東京書籍がいいのではないかと感じました、また、先ほど玉井委員がおっしゃったように、巻末のホワイトボード等も面白いのではないかと思います。

○下里職務代理 いまお二方の意見もお聞きした中で確かに、中学生くらいになると、考えさせるための工夫が必要になってくると思います。特に道德の場合、わかりきった答えなど、テーマの与え方が悪いと深く考えようとしなくなることも出てくると思うんです。課題を考える過程では葛藤が生まれ、矛盾が生じるような課題をグループで話し合わせられるような、そんな題材が中学生にはふさわしいと思います。調査員報告にもありましたように、東京書籍のモラルジレンマを起ししやすい題材というのは、様々な考え方を引き出し、面白みがあってよいのではないかと。そのように考えます。

○三壁教育長 様々なご意見を委員のみなさんからいただきました。

みなさんのご意見からは、全体的なバランスとして「東京書籍」が、他の2社よりやや評価

が高い印象を受けました。どうでしょうか。

他にご意見が無ければ採決したいと思いますがいかがでしょうか。

(「特になし」の声あり)

○三壁教育長　それでは、今までのご意見を頂戴した中で、「東京書籍」で、ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

ありがとうございました。

ご異議ないようですので、平成 31 年度使用中学校教科用図書（道徳）については、「東京書籍」で決定をさせていただきます。

最後になりますが、事務局で何かございますか。

○八巻学校教育課長　ご審議ありがとうございました。

学校教育法附則第 9 条、特別支援学級に学ぶ子ども達の中での教科用図書採択について、今回希望が出ておりませんことをご報告申し上げます。

また、本日の採択の結果については、7 月末から 8 月に県内各市町村で採択が進められるので、それらへの配慮ということで、公開については、9 月 1 日以降ということで、ご配慮をお願いいたします。

○三壁教育長　それでは、これをもちまして、平成 30 年第 1 回三浦市教育委員会臨時会を閉会いたします。

傍聴者の方はご退出ください。

◇ 午後 2 時 10 分 閉会 ◇